

# ぐるり39

～自治調査会だより～

2023

4

NO. 115

[発行日]  
2023.4.1



市内屈指の桜の名所。一斉に咲き誇るソメイヨシノが、桜吹雪の舞う幻想的な桜のトンネルをつくります。

【写真提供】狛江市  
【撮影場所】六郷さくら通り

- ▶ 多摩東京移管130周年 ..... 2
- ▶ 2023年度 自治調査会の主な事業 ..... 4
- ▶ オール東京62市区町村共同事業  
みどり東京・温暖化防止プロジェクト 2023年度事業概要 ..... 5
- ▶ 2023年度 調査研究テーマについて ..... 6
- ▶ オール東京62市区町村共同事業  
みどり東京・温暖化防止プロジェクト 市町村の取組紹介 ..... 8
  - 青梅市 外来生物防除事業
  - 府中市 府中環境まつり2022
  - 檜原村 地球温暖化防止普及啓発事業
- ▶ 多摩交流センターだより  
・イベント紹介 ..... 9
- ▶ 多摩・島しょ とっておき歴史発見 ～狛江市～ ..... 10

Contents

4月の内容

公益財団法人

東京市町村自治調査会

## 多摩東京移管130周年

2023年は、多摩地域が神奈川県から  
東京に移管されて130年となります。

この新たな「東京の誕生」ともいえる当時を振り返り、  
未来を拓く素敵な地域づくりについて、一緒に考えてみませんか。

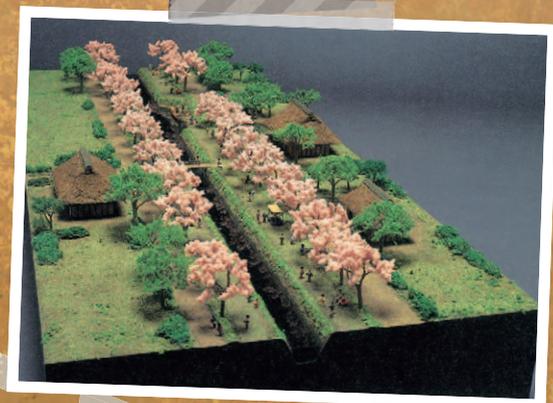
# 130周年



# 1893



甲武鉄道(現・JR中央線)開業当時の錦絵(たましん地域文化財団所蔵)



玉川上水通船模型(小平市中央図書館「多摩東京移管前史資料展図録」より)



宮城（現・皇居）付近を行進する都制編入の陳情団。多摩地域選出の代議士、府会議員、各市町村長らが参加する組織（『東京と多摩』より）



南側上空から見た立川飛行場（昭和初期）（『写真集たちかわ』より）

全區郡府京東

2023

# 「新たな東京」 誕生

東京府郡区全図（明治29年）（東京都公文書館所蔵）

多摩地域は現在、人口約430万人、東京のおよそ3分の1の人口を擁し、面積はおよそ2分の1を占めています。この他にも事業所や大学の集積、命の水を生み出す豊かな山や川など東京に欠くことができない地域となっています。

この地域が神奈川から東京に移管されて130年。長い歴史の中、多くの多摩地域の住民の思いがつながり、今の多摩地域を、世界都市東京を形成していると言えます。

そして、この多摩地域のさらなる活性化は、東京の未来を拓く新たな可能性の源泉となります。そこで（公財）東京市町村自治調査会では、多摩地域と、静岡から東京に移管されて145年となる島しょ地域とともに、東京都とも連携しながら新たな未来づくりの契機となる取組を展開してまいります。

## 2023年度 自治調査会の主な事業

2023年度も、当調査会は、多摩・島しょ地域の市町村の広域的・共通課題の調査研究など、市町村の振興に寄与する事業を次のとおり実施します。

### 1. 調査研究事業

- 関係人口とともに創る地域づくりに関する調査研究
- 地域課題の解決に向けたeスポーツの可能性に関する調査研究
- 地域の未来予測を踏まえた多様な主体との広域的な協働のあり方に関する調査研究  
【大学との共同研究】（2年間で実施）  
※概要は、本紙6・7ページをご覧ください。
- かゆいところに手が届く！多摩・島しょ自治体お役立ち情報

### 2. 実態調査事業

- 多摩地域ごみ実態調査（毎年度実施）
- 多摩地域データブック（毎年度実施）
- 市町村税政参考資料・市町村財政力分析指標（毎年度実施）  
※概要は、本紙7ページをご覧ください。

### 3. 共同事業

#### (1) 39市町村共同事業

東京都市長会・東京都町村会と連携し、「多摩・島しょ広域連携活動助成事業」を実施します。

#### (2) オール東京62市区町村共同事業「みどり東京・温暖化防止プロジェクト」

都内62市区町村が、東京のみどりの保全や温室効果ガス削減について連携・共同して取り組むため、次ページの事業を特別区長会、東京都市長会、東京都町村会、(公財)特別区協議会とともに実施します。

#### (3) 協賛事業

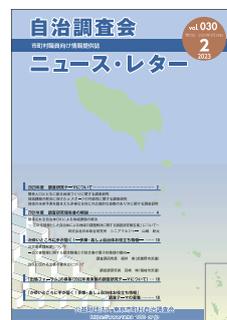
島しょ地域の子どもたちを対象に毎年実施される「愛らんどリーグ（サッカー大会）」、島しょ地域の振興を目的に隔年で実施される「東京愛らんどフェア（島じまん2023）」に協賛します。

### 4. 普及啓発事業

機関紙「ぐるり39～自治調査会だより～」やホームページ（<https://www.tama-100.or.jp>）などを活用して当調査会の活動内容を周知するとともに、多摩・島しょ地域に関する情報を発信します。

また、調査研究の成果などを広く周知するために、住民も参加できるシンポジウムを開催するとともに、2022年度に実施した調査研究について、多摩・島しょ地域の市町村に出向いて職員向けに調査研究結果のプレゼンテーションを行う出張フォーラムを実施します。

さらに、市町村職員に向けた行政課題に関する情報提供誌「自治調査会 ニュース・レター」を発行します。



### 5. 多摩東京移管130周年記念事業

今年度は、多摩地域が神奈川から東京に移管されて130年目に当たります。これを記念して、フォトコンテストの開催や東京自治会館での記念展示、冊子「シン多摩市町村のあゆみ（仮）」の発行などを予定しています。それらの情報は本紙でも紹介していきます。

## 6. 広域的な市民活動支援

### (1) 交流の場の提供事業

会議室、市民交流・資料室などの施設・設備を持つ多摩交流センターにおいて、広域的に市民活動を行っている団体に、会議室及び機器類などを提供します。

### (2) 助成事業

#### ① 事業助成

市町村の枠を越えた広域的市民ネットワークを形成している団体が実施する地域づくり、まちづくりにつながる活動や、市民団体が主体的に取り組んでいる西多摩地域の振興活動に対し、経費の一部を助成します。

#### ② 活動支援

広域的な市民ネットワーク活動を新たに行いたい、発展させたい市民団体に対し、経費の一部を助成します。

### (3) 共催等事業

多摩地域の広域的な市民の交流や新しい生涯教育の推進を図るため、市民団体等と共催し、TAMA市民塾、多摩の歴史講座、TAMAとことん討論会などの事業を実施します。

### (4) 情報発信事業

- 多摩地域に関する各種の情報を収集し、多摩交流センター市民交流・資料室において、配架・提供します。
- 機関紙「ぐるり39～自治調査会だより～」やホームページ (<https://www.tama-100.or.jp>) で、多摩交流センターに係る情報を発信します。



オール東京62市区町村共同事業

## みどり東京・温暖化防止プロジェクト

2023年度事業概要

本事業は、東京で暮らす私たちにとって大きな課題である温室効果ガスの削減やみどりの保全について、東京都内の全62市区町村が連携・共同して取り組む事業です。各市区町村や地域の特性に応じた自然環境の保護、地球温暖化対策を推進します。

スタートから17年目となる2023年度は、2022年度に引き続き、近年の環境情勢や国の環境施策の動向等を踏まえながら、次の6つの事業を実施します。

### 【2023年度事業】

① 標準算定手法による温室効果ガス排出量算定の共有化推進	○62市区町村の温室効果ガスの排出量を算定し、その結果を公表します。 ○各市区町村のデータ活用を支援します。
② 各団体の実施する事業との連携	○62市区町村の実施事業に、1市区町村100万円を限度として助成します。 ○市区町村の成果をホームページ「ECO ネット東京62」上でPRします。
③ ホームページの維持管理・コンテンツの充実	○プロジェクトの取組や62市区町村の環境事業などを紹介するHP「ECO ネット東京62」を運営し、事業の普及・啓発を行います。
④ 気候変動対策に関する調査研究	○「脱炭素」を目指す「緩和策」と「適応計画」策定に向けた「適応策」の両面について、62市区町村が実効性のある取組を推進できるよう研究面から支援を行います。
⑤ オール東京62環境担当者研修会	○市区町村の現状やニーズを踏まえ、複数のテーマを設定し環境分野の知見等に関する研修を行います。 ○情報共有の場の設定、市区町村の職員が参加しやすいリモート方式等の活用を行います。
⑥ 市区町村等主催イベントでのPR、普及啓発展示	○62市区町村等が主催するイベント等で、当プロジェクトの事業のPRやCO <sub>2</sub> 削減・地球温暖化防止につながる活動の普及啓発を行います（15回程度/年）。

この事業は、(公財) 東京都区市町村振興協会からの助成金により、主催＝特別区長会・東京都市長会・東京都町村会、企画運営＝(公財) 特別区協議会・(公財) 東京市町村自治調査会で実施しています。

詳しくは、みどり東京・温暖化防止プロジェクトのホームページ「ECO ネット東京62」(<https://all62.jp/>)をご覧ください。

2023年度

# 調査研究テーマについて

当調査会では、多摩・島しょ地域の市町村の広域的・共通課題を中心に、年度毎にテーマを複数選定し、調査研究を実施しています。調査研究報告書は、多摩・島しょ地域の市町村などに配布するとともに、ホームページ (<https://www.tama-100.or.jp>) にも掲載し公開しています。

2023年度については、3件の調査研究実施を予定しており、今回はその概要を紹介いたします。

## 関係人口とともに創る地域づくりに関する調査研究

多くの自治体では、人口減少や高齢化により、地域づくりの担い手不足という課題に直面しています。

そこで関係人口と呼ばれる、移住した「定住人口」でもなく、観光に来た「交流人口」でもない、地域と多様に関わる人々が、新たな地域づくりの担い手として期待されています。

全国の自治体では、関係人口創出に向けた取組が行われ、これらの様々な事業をきっかけに、地域の活性化に新たな展開を起こし始めています。

本調査研究では、関係人口をまちづくりの新たなパートナーとして、地域活性化に向けた事業を展開する自治体の取組を調査研究し、自治体が関係人口とともに創る持続可能な地域づくりについて提案することを目指します。

## 地域課題の解決に向けたeスポーツの可能性に関する調査研究

地域共生社会の実現に向けた解決手段の1つとして、eスポーツを活用する動きが全国の自治体で始まっています。

eスポーツは従来のスポーツとは他者と競技を楽しむ点で似ていますが、激しい身体的活動を伴わないことから、高齢者や障がい者にも取り組みやすいとも言えます。手指を使う動作やプレー中のコミュニケーションは、介護・認知症予防への効果が期待されるほか、競技を通じた社会参画にも繋がり、地域交流の活性化への寄与など、幅広い可能性が期待されます。

本調査研究では、多摩・島しょ地域自治体が地域課題の解決に向けた施策の1つとして、eスポーツに関する動向の提示や活用方策を提案することを目指します。

## 地域の未来予測を踏まえた多様な主体との広域的な協働のあり方に関する調査研究 【大学との共同研究】(2年間で実施)

急速な少子高齢化を伴う人口減少やインフラの老朽化などにより、自治体を取り巻く環境は一層厳しくなっていくことが予想されています。

こうした状況において、様々な地域課題を解消し、ウェルビーイングなまちづくりをしていくために、各自治体には、自治体間での協働はもとより、地域社会を支える住民組織、企業、大学等の多様な主体とも協働し、貴重な資源を効果的に活用した広域的な取組を展開していくことが期待されます。

本調査研究は、変化が著しい社会情勢を踏まえ、将来を見据えた上で、多摩・島しょ地域自治体の特性を活かした、多様な主体との広域的な協働のあり方について、提案することを目指します。

### 毎年度調査

当調査会では、上記の調査研究に加え、多摩・島しょ地域の市町村における行財政運営の参考となるように、各種統計資料を毎年度作成しています。

2023年度についても、以下のデータ集を作成し、上記の単年度調査研究と同様に配布・公開する予定です。

#### ○多摩地域ごみ実態調査

多摩地域の清掃事業及びリサイクル事業に関する情報を調査し、基礎的な統計データ集を作成します。

#### ○多摩地域データブック

多摩地域における今後のまちづくりや政策形成など行政運営上の基礎資料として、「人口・土地」「産業」「都市基盤」など主要な統計データ集を作成します。

#### ○市町村税政参考資料・市町村財政力分析指標

多摩・島しょ地域の市町村における、財政力指数・公債費比率・経常収支比率等の分析指標及び市町村税徴収実績等のデータ集を作成します。

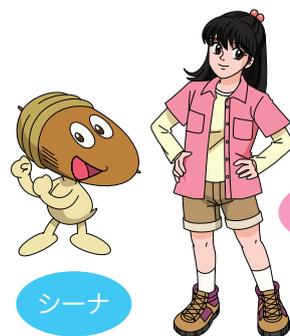


オール東京62市区町村共同事業

# みどり東京・温暖化防止プロジェクト

## 市町村の取組紹介

本プロジェクトでは、自然環境保護と地球温暖化防止についての普及・啓発を目的とする市区町村の自主事業に対する助成を行っています。多摩・島しょ地域の市町村で本助成を活用して実施された取組を紹介します。

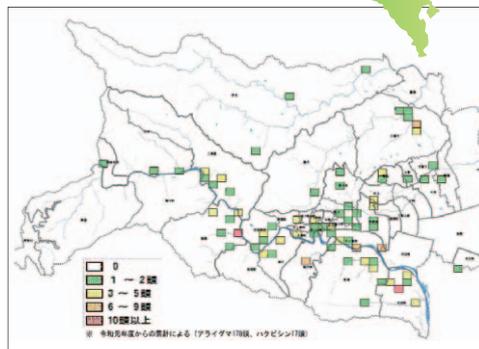


かれんとシーナは、みどり東京・温暖化防止プロジェクトのイメージキャラクターです。

### 1 青梅市 外来生物防除事業

青梅市では、生物多様性の保全と生活環境被害防止を目的として、外来生物であるアライグマとハクビシンの防除事業を行っています。市民からの目撃情報をもとに、住宅などの私有地に捕獲器を設置して駆除するとともに、希少在来生物の捕食が疑われる地点等でアライグマとハクビシンの生息調査を行っています。

2022年度は2023年1月末時点で59頭の駆除をしました。今後も、豊かな生態系や市民の暮らしを守るよう、防除事業を継続していきます。



【問合せ先】青梅市 環境政策課 TEL 0428-22-1111

### 2 府中市 府中環境まつり 2022

府中市では、地球温暖化防止、自然保護、3R推進など、環境について楽しみながら学び、考えることができるイベントとして、「府中環境まつり」を開催しています。2022年度は特設サイト内に、事業者や市民団体の紹介、市の取組紹介とともに、環境クイズを設け、沢山の方にご参加いただきました。

2023年度は、府中公園での開催を予定しています。4年ぶりの会場開催に向け、より多くの方にご参加いただけるよう、準備を進めています。



【問合せ先】府中市 環境政策課 TEL 042-335-4196

### ③ 檜原村 地球温暖化防止普及啓発事業



檜原村では、切捨て間伐材を木質バイオマス燃料として有効活用するため、「檜原村産の薪」の普及に取り組んでおり、年2回「薪づくり体験」を開催しています。

2022年度は3年ぶりの開催となり、参加者は、地元の林家の山林を散策しながら林業について学び、薪製造施設で斧を使用した昔ながらの薪割りとお圧式の自動薪割り機を使用した2通りの薪割りを体験しました。その後、温泉センター「数馬の湯」に設置された薪ボイラーを見学し、温泉に入って疲れを癒していただきました。



【問合せ先】 檜原村 産業環境課 TEL 042-598-1011



## 多摩交流センターだより

### イベント紹介

#### 奥多摩セラピーウォーク

**日 時** 2023年4月29日(土・祝)  
●受付時間 9:00～11:00(荒天の場合中止あり)

**受付場所** JR奥多摩駅前

**コース** JR奥多摩駅～奥多摩むかしみち～奥多摩湖(10km 4時間)

**内 容** 奥多摩町は都内で初めて森林セラピー基地として認定され、コースとなっている奥多摩むかしみちは町内にある5つのセラピーロードのうちの1つとなります。今も随所に昔のままの姿が残されており、古い民家や道祖神、馬頭観音などに江戸時代の面影薫る旧青梅街道をたどるハイキングコースです。コースの途中では奥多摩名人・達人ガイドによる名所案内などをあわせて楽しんでいただけます。

**参加費** 500円(受付時に支払い、保険料含む) ※事前予約不要

**主催** 奥多摩セラピーウォーク実行委員会

**問合せ** 奥多摩セラピーウォーク実行委員会事務局  
(奥多摩町役場観光産業課内)

TEL 0428-83-2295 FAX 0428-83-2344

ホームページ <https://www.town.okutama.tokyo.jp/gyosei/index.html>



#### 「多摩交流センターだより」の問合せ先

##### (公財) 東京市町村自治調査会 多摩交流センター

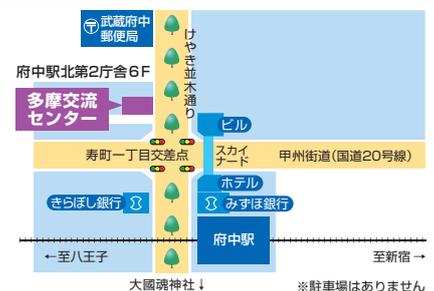
〒183-0056 府中市寿町1-5-1 府中駅北第2庁舎6F

TEL 042-335-0100 FAX 042-335-0127

ホームページ <https://www.tama-100.or.jp>

(当調査会ホームページ内にコンテンツがあります)

☆ 多摩交流センターは、広域的なネットワーク活動の支援、多摩地域市民交流の場の提供等を目的として活動しています。





# とっておき歴史発見

## 第25回 狛江市



身近な場所で歴史を発見！今回はわたげのボクが『むいから民家園』と『猪方小川塚古墳』を紹介するよ。

### むいから民家園 (狛江市立古民家園)



むいから民家園には、旧荒井家住宅の主屋と旧高木家の長屋門が移築・復元されているよ。主屋は典型的な農家で、長屋門は幕末頃の村の名主さんの家に建っていたものなんだ。「むいから」というのは、昔、屋根の材料に麦わらが使われていて、「むいから屋根」と呼ばれていたことに因んだ名前だよ。園内には四季折々の草木も見られて、縁側に座ってのんびりと過ごすことができる場所だよ。

### 猪方小川塚古墳



猪方小川塚古墳は、7世紀半ば頃に作られた横穴式石室をもつ古墳だよ。狛江にはたくさんの古墳が造られたけど、今のところ、横穴式石室をもつことが分かっているのは、この古墳だけなんだ。横穴式石室は泥岩の切石を積み上げて組み立てられていて、その様子をガラス越しに見学することができるように古墳公園として整備されているよ。2021年に東京都指定史跡に指定されたんだ。

#### 【現地案内】

##### ◆ むいから民家園

- ・開園時間 9:30～16:30
- ・休園日 月曜日(休日にあたるときは翌開園日)
- 年未年始(12月28日～1月4日)

##### 〈アクセス〉

- ・小田急線狛江駅または和泉多摩川駅から徒歩約10分
- ・狛江駅北口からバス「多摩川住宅」行き、または「こまバス」(北回り)で、「児童公園」下車



##### ◆ 猪方小川塚古墳公園

- ・開園時間 9:00～17:00(10月～3月は16:30まで)
- ・閉園日 年末年始(12月28日～1月4日)

##### 〈アクセス〉

- ・小田急線和泉多摩川駅から徒歩約10分



##### 【情報・写真提供】

狛江市教育委員会教育部社会教育課

本紙についてのご意見・ご要望は、ホームページの問合せフォームからお寄せください。 問合せフォーム▼

